

外国人住民の新型コロナワクチン接種に係る影響要因の検討に関する研究のお知らせ

神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間	2023年3月27日～2024年3月31日
研究課題	外国人住民の新型コロナワクチン接種に係る影響要因の検討
研究の概要	<p>目的及び意義：日本在住の外国人数はグローバル化に伴い増加傾向にあり、今後更なる増加が予想される。一方、国内の保健医療に関しては、未だ外国人が利用しやすい体制が十分に整っているとは言えない状況である。2020年より新型コロナウイルス感染症の流行が始まり、2021年より国内の新型コロナワクチン接種が開始されたが、外国人住民のワクチン接種に関しては全国的に公表されている詳細なデータがないため、接種率等の実態を把握することは困難である。新型コロナワクチン接種に関しては、健康の社会的決定要因による影響が報告されており、国内において人種・民族による格差が生じている可能性が懸念される。在日ベトナム人を対象とした調査においては、在留資格による接種率の違いが報告されている。このような状況から、外国人住民間でもワクチン接種へのアクセスの差が生じている可能性があり、在留資格による接種率の差は、環境やソーシャルサポートによる違いが関連していると考えられる。外国人のワクチン接種に関連する社会的な要因を検討することは、今後のワクチン接種をはじめ保健医療に関する普及啓発のための一助となると考えられる。そのため、本研究では、外国人住民への対面インタビューを通じて、新型コロナワクチン接種に係る影響要因を検討する。</p> <p>方法：横浜市在住の外国人に対面インタビューを通じて、新型コロナウイルスワクチン接種に影響を与える因子を同定する。本研究は対面インタビューによる調査のため、多くのサンプル数を収集するのが困難であり、サンプルサイズは統計解析が可能な30人とする。インタビュー対象者のリクルートは、公益財団法人横浜市国際交流協会の団体データベースに登録されている団体等にインタビュー調査の協力を依頼する。</p> <p>対象：日本在住で18歳以上のベトナム人、フィリピン人、ネパール人</p>
研究組織	<p>【研究代表者】 ヘルスイノベーション研究科 修士課程 沼田 誉理</p> <p>【研究分担者】 ヘルスイノベーション研究科 教授 Yoo Byung-Kwang ヘルスイノベーション研究科 准教授 津野 香奈美</p>
個人情報の取扱い	<p>調査は無記名で行い、個人情報は質問票に記載しない。個人情報が含まれるインフォームド・コンセントは、下記①～⑤の適切な方法で保管する。</p> <p>①インタビューに使用した紙媒体は、電子化したのちシュレッターにかける。電子ファイルは、記録媒体等にパスワードをかけて保管する。</p> <p>②上記ファイルのバックアップファイルをとる場合にはセキュリティ機能付記憶媒体を使用する。</p>

	<p>③情報は外部ネットワークから遮断された大学院生用個人フォルダに保存する。</p> <p>④研究代表者が上記のバックアップファイルを自宅に持ち出して分析する場合があります。その際は、規定に従い許可を得て、学科に登録されたセキュリティ機能付き電子媒体に、パスワードロックをかけて情報を保存して持ち出す。持ち出した情報を、パスワードを設定した研究代表者のパーソナルコンピューターを用いて分析を実施した後、分析結果はセキュリティ機能付き電子媒体に保存する。自宅では、電子媒体を施錠できる保管庫に保管する。持ち出しが終了した時点で、規定に従って報告する。</p> <p>⑤分析終了後は、データを匿名化し研究責任者が適切に保管する。</p>
その他	

対象となる方で、研究の内容や、ご自身の検査結果などの研究への使用に関して、より詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。ご協力よろしくお願い申し上げます。

〔問い合わせ先〕

研究代表者：ヘルスイノベーション研究科 修士課程 沼田 誉理

TEL : 044-589-8100 (代表)